

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【下塩尻自治会】

### 1 開催概要

開催日時・時間		令和3年4月28日（水）19：00～20：17
開催場所		下塩尻公民館
出席者	住 民	15名（下塩尻地区住民15名）
	行 政	土屋広域連合長、吉澤上田市副市長 他関係職員13名
	報道関係	4社
説明要旨		①環境影響評価 配慮書の手続きの内容と結果 ②環境影響評価 方法書の手続き以降の進め方

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	ごみ減量化について	燃やすごみの量を減らすことが、環境にやさしい施設に繋がる。ごみ減量化に向けた、今後の取組を教えてください。	<p>広域連合の構成市町村それぞれで減量化の取組を進めている。</p> <p>上田市では、昨年8月に策定した「生ごみリサイクル推進プラン」を進めるにあたり、堆肥化施設の建設について関係する自治会とこれから話し合いをしていく段階である。東御市及び長和町では既に生ごみ堆肥化施設が建設されており、青木村においては、竹チップを活用した生ごみ資源化に取り組んでいる。</p> <p>広域連合では、上田地域における令和7年度の可燃ごみ減量化目標値を、令和元年度比で約マイナス4,200トンと定めており、達成に向け、構成市町村と連携しごみの減量化に取り組んでいく。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
2	施設規模について	施設の稼働開始が 8 年後とのことだが、将来の人口減少を踏まえた施設規模となるのか。	施設規模については、人口減少も考慮した減量化目標値により設定している。 今後、ごみ減量化の状況を考慮しながら、環境影響評価が終了する頃を目途に、施設規模の再検証を行う。
3	配慮書の手続き (複数案の設定について)	造成高を 1m と 5m に設定しているが、矢出沢川や霞堤防からの浸水も考慮しているのか。	霞堤防を含めた千曲川や県が管理する河川を考慮した上田市災害ハザードマップにより、造成高を想定している。
4		煙突の高さを 59m と 80m に設定しているが、造成高さからの高さなのか。	煙突の高さは、造成後の高さから 59m または 80m となる。
5	配慮書の手続き (評価方法について)	配慮書では、大気質、景観、日照障害について評価しているが、交通量や臭気、騒音などの評価もしてほしい。	配慮書では、環境に大きく影響を与えると考えられる項目について予測・評価している。 その他の項目については、今後実施する方法書及び準備書で評価していく。
6		地震災害の影響について、環境影響評価で評価するのか。	国の基準により耐震性の高い施設を建設していく。施設基本計画で検討していく。

No	項目	質問・意見等	回答
7	水害対策について	千曲川増水時における霞堤防からの浸水の影響について、環境影響評価で検討してほしい。	施設基本計画で検討する。
8		造成高さを1mと5mに設定しているが、仮に5mとなった場合、敷地全体を嵩上げするのか。 また、その場合、国等と協議し堤防の強化を図るのか。	敷地全体を5m嵩上げした場合、景観及び日照阻害への影響は少なからずある。 今回の配慮書の結果を参考に、水害対策について、環境へ配慮しながら、施設基本計画で検討していく。 また、堤防の強化については、市が堤防道路を拡幅することも視野に入れて検討していく。
9		ごみ収集車の搬入経路にもなるため、堤防道路の拡幅をお願いしたい。	No.8のとおり検討していく。
10	事業の進め方について	今回は自治会単位での説明会であるが、企業や学校など個別の対応はするのか。 排ガスの予測において、最大濃度となる地点が清浄園から1.5kmとなっている。 1.5kmの範囲内の学校や、千曲川左岸の自治会にも説明するのか。	建設候補地周辺自治会への説明が最優先と考えており、その後、圏域全体を対象とした説明会を予定している。 御要望等があれば、個別での対応も可能である。